

桑本裕二 准教授・博士（文 学）	E-mail	kuwamoto@matsue-ct.jp
	専門分野	言語学・音韻論・方言学

対応可能な分野

1. 地域方言に関すること

島根県を含む、山陰全域・兵庫県但馬地方の方言の音韻、形態的分布について。

2. 世相語、若者ことばに関すること

若者ことばなどの集団語、世相語、流行語などの発生や定着、通時的变化、共時的多様性などをめぐる諸問題。

研究内容

■鳥取県倉吉方言のアクセント、母音連声などに関する音韻的考察

鳥取県倉吉市を中心とする鳥取県中部方言のアクセント型は、基本的には東京方言アクセントと同じでありながら、東京方言で主流の平板型アクセント（「さかな（魚）」など）が少なく、また逆に、東京方言でそれほど多くない中高型（「たまご（卵）」など）や尾高型（「おとこ（男）」など）が主流となります。さらに、平板型アクセントは「さかな」のように、尾高型アクセントは「おとこ」のように、高音調が1モーラだけになる卓立型アクセントと呼ばれる音調の序列になります。倉吉方言アクセントのアクセント分布が東京方言アクセントとどのように違うのか、違うことによってどんな現象が付随して起こっているのかを明らかにする研究をしています。

■山陰地方（中国地方）の可能などの表現形式に関する形態音韻論的考察

いわゆるラ抜きことば、レ足すことばが一般的である当該地域の諸方言におけるそれらの表現形式の異同や特異性をさぐり、さらに、将来的には敬意表現、標準語の「-なさる」からの派生が考えられる「-なる」「-んさる」などの地域ごとの分布やその他の敬意表現の形式のあり方について考察を深めます。

主な使用機器・設備など

特になし

産学連携に関する実績

特になし